

(1) 福島県内における「動物愛護」の現状及び課題について

イ 猫の適正飼養について

(背景)

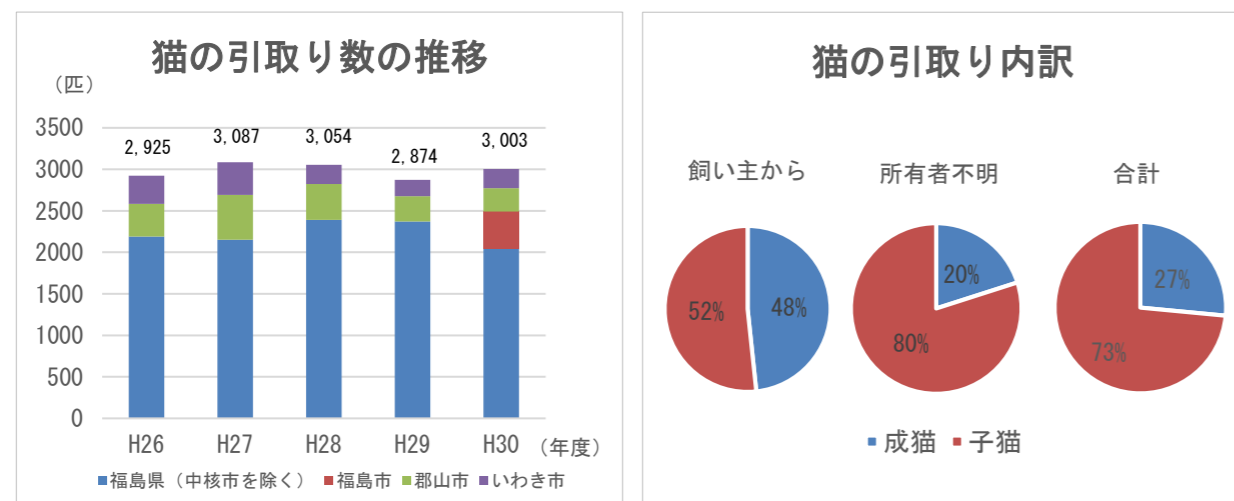
平成26年度から平成30年度までの過去5年間の福島県の猫の引取り数は、3,000匹前後を推移し、極端な増加が無い反面、減少も見られない状況です。

また、動物愛護センターや保健所に寄せられる猫に起因する相談は、飼養管理不良によるものが多く、相談者の中には、極端に猫を憎悪するまでに悩まれている方もいらっしゃいます。

県及び中核市といたしましては、人と動物の調和ある共生を目指しており、この状況を打開すべく、猫に関わる方々への適正飼養の普及啓発に精力的に取り組んでおりますが、顕著な効果が得られず、対応に苦慮しております。

つきましては、この懇談会において、委員の皆様には福島県の現状を知っていただき、様々な立場から御意見を頂戴し、今後の課題解決に向けた取り組みへの一助とさせていただきたく、議題といたしました。

(ア) 福島県の猫の引取り数と内訳



(イ) 動物愛護センター、保健所に寄せられる猫に起因する相談内容

- i 屋外の猫に関連するもの
 - ・捨て猫や増えてしまった猫の引取り相談
 - ・猫の糞尿やいたずら等による被害に関する相談
- ii 屋内の猫に関連するもの
 - ・飼い主や周囲の人からの猫の引取り相談 (高齢者や生活困窮者からの相談が増加傾向)

(ウ) 行政機関等の取組み

- i 猫の適正飼養の普及啓発
 - ・チラシやリーフレット等普及啓発物の作成、チラシの回覧
 - ・飼い主等への助言・指導
 - ・猫の適正飼養講習会の開催
 - ・新聞やテレビ、ラジオ、HPによる広報
- ii 繁殖制限措置の推進
 - ・飼い犬・飼い猫の不妊去勢手術費用の一部助成 (いわき市、矢吹町)
 - ・所有者のいない猫の不妊去勢手術費用の一部助成 (郡山市、いわき市、白河市)
 - ・県が譲渡する一部の犬・猫への不妊去勢手術の実施
 - ・県及び中核市行政から譲渡された犬・猫の不妊去勢手術費用の一部助成 (福島県獣医師会)

(エ) 今後の課題

- i 猫の引取り数の削減
- ii 適正飼養の普及啓発
 - ・より効果的な適正飼養 (繁殖制限措置や屋内飼養等) の普及啓発
 - ・多頭飼育者への対応 (現状把握と指導・助言)
 - ・高齢者や生活困窮者のペット飼養者への対応

【課題の解決に向けた取り組みについて、委員の皆様への御意見等】